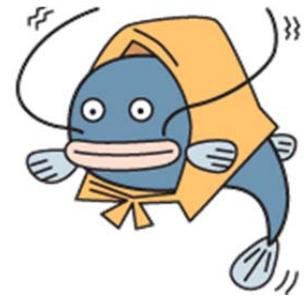


緊急地震速報

なまずきん



マンスリー レポート

2014年9月号

発行元 株式会社 ハレックス



津波防災の日(11月5日)、緊急地震速報の全国訓練が行われます

緊急地震速報の全国的な訓練が、11月5日の「津波防災の日」に実施されます(平成26年9月25日、内閣府・気象庁報道発表)。毎年秋の訓練は、国の機関や地方公共団体のほか、学校、民間企業等や個人にも幅広く呼びかけて実施されています。今年度は、全国各地の地震・津波防災訓練と本訓練との有機的な連携を図り、より実効性の高い訓練内容とするため、「津波防災の日」に実施されます。気象庁からは国の機関や地方公共団体及び民間の緊急地震速報を提供する事業者のうち、訓練への参加を計画している機関や団体に対して、訓練用の緊急地震速報が配信されます(図1)。

なお、テレビやラジオ、携帯電話(緊急速報メール/エリアメール)では、訓練用の緊急地震速報が放送又は報知されることはありません。

詳しくは次の気象庁ホームページをご覧ください

<http://www.jma.go.jp/jma/press/1409/25b/eewkunren1411.pdf>

実施日時と参加機関等

- 平成26年11月5日(水) 10時00分頃(気象庁からの訓練用緊急地震速報の配信時刻)
- 国の機関、地方公共団体、学校、民間企業等、個人

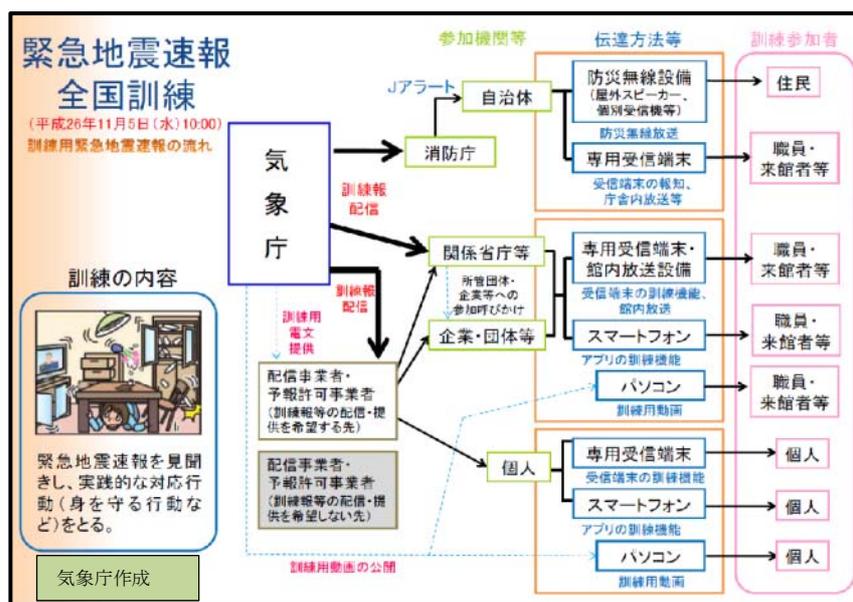


図1 訓練用緊急地震速報の配信イメージ

“なまずきん”の訓練機能について

“なまずきん”を用いて訓練を行う場合には、「ハレックスからお客様に個別に訓練報を発信する」方法と、「お客様の端末のコンソール画面から緊急地震速報を再現する」方法があります。前者については、ご要望があれば訓練電文を送信することができますのでご相談ください。

ここでは、後者の“なまずきん”端末のコンソール画面から緊急地震速報を再現する方法について紹介します。

<コンソール画面からは、下記①及び②の方法があります>

①『履歴』（保存電文；過去に発生した地震のデータを利用し再現）を利用（図2の左）。

◇履歴の表示と検索

- ・コンソール画面の[履歴]タブを検索します。保存されている直近の履歴が表示されます。
- ・年・月の入力欄に検索する年月を入力し、[検索]を選択します。指定した1ヶ月分の履歴が表示されます。

◇再現情報の選択と実行

- ・再現する保存情報（発表日時等）を選択し、[再現する]を実行します。この実行により、確認画面が表示され、確認とパスワードの入力を求められます。手順に沿って進めて下さい。

②『テスト』（緯度・経度、震源の深さ、マグニチュードを入力し再現）を利用する（図2の右）。

◇テストの選択

- ・コンソール画面の[テスト]タブを実行。入力パラメータ（震源情報）画面が表示されます。
- ・緯度・経度・震源の深さ・マグニチュードを入力し、[地震テスト]を実行します。手順に沿って進めて下さい。

■誤操作防止■

外部装置との接続を「断」にする等、十分にご注意ください。

再現を実行すると、接続されている警報装置（接点装置）や放送設備など他のシステムと連動している外部装置も動作します。『誤報』『誤動作』を防止するため、**誤報防止を促す確認画面（コンソール画面の接続状況）**を設けていますので、**必ずご確認ください。**

なお、音声及び警報機は実際に緊急地震速報を受信したときと同様です。再現中に緊急地震速報を受信した場合は、受信した緊急地震速報画面を最前面に表示します。

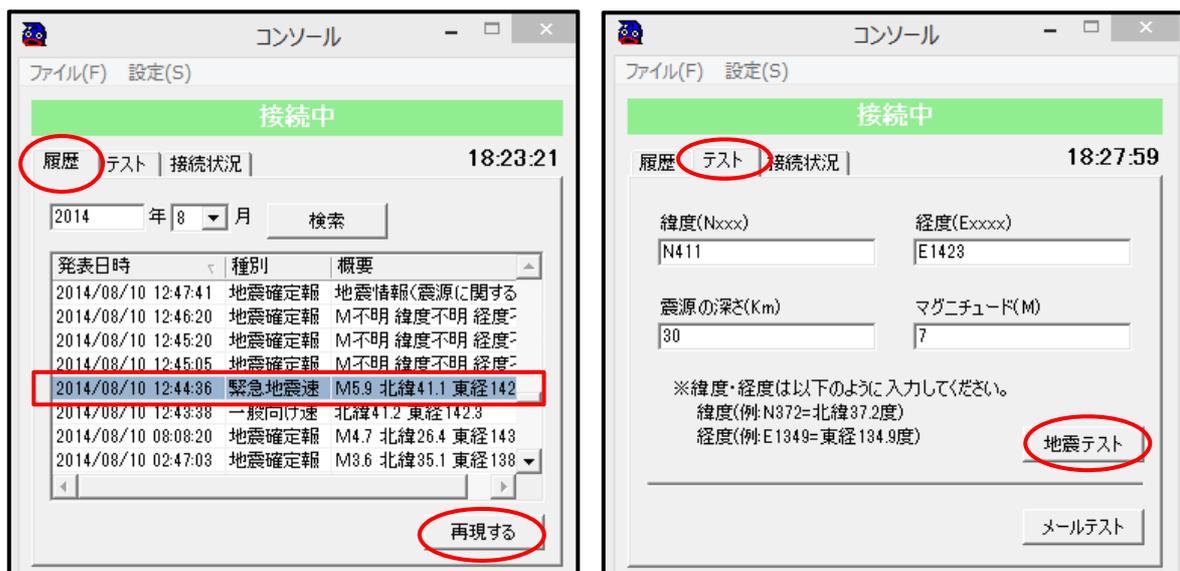


図2 コンソール画面での受信情報の履歴と再現例（左：履歴の検索と再現、右：テスト実行）

～～～ なまずきんの働き（2014年8月） ～～～

【発信数等概要】

8月に緊急地震速報（警報）が発表された地震は1回（7月は2回）、緊急地震（予報）が発表された地震の回数は96回（7月は97回）ありました。

また、緊急地震速報の発信の総数は475通（7月は507通）でした。その内、緊急地震速報の予測震度4以上と報じた地震の回数は3回（7月は4回）、予測震度3と報じた地震の回数は9回（7月は19回）でした（表1・2）。

「平成23年（2011年）東北地方太平洋沖地震」の余震は、次第に少なくなってきたものの、最大震度4以上を観測した地震が1回、震度1以上を観測した地震が56回発生するなど、引き続き岩手県から千葉県北東部にかけての沿岸及びその沖合の広い範囲で発生しました。

余震回数（2011/03/11 14:46～2014/8/31 24:00、本震を除く）は、M7.0以上が9回、M6.0以上が113回、M5.0以上が819回となっています。

表1 緊急地震速報で最大震度4以上と予測された地震及び警報発表回数（2014年8月1日～31日）

	予測震度4以上の発表回数		警報発表回数	
東北地方太平洋沖地震の余震	1回	計3回	0回	1回
上記以外	2回		1回	

表2 緊急地震速報で最大震度が3と予測された地震の回数（2014年8月1日～31日）

	予測震度3の発表回数	
東北地方太平洋沖地震の余震	1回	計9回
上記以外	8回	

【2014年8月に発表された緊急地震速報（警報）の詳細】

青森県東方沖を震源とする地震（10日12時46分、M6.1）で、青森県七戸町で震度5弱を観測したほか、北海道から東北地方、茨城県にかけて震度4～1を観測しました。

この地震の震源要素及び地震検知から緊急地震速報（警報）が発表されるまでに要した時間について表3に示します。

この地震で、緊急地震速報（予報）は全部で10通発表され、その第1報で警報が発表されています。緊急地震速報の発表通数、警報発表地域、警報が発表されるまでに要した時間等、緊急地震速報の詳細について表4、図3に示しますのでご覧ください。

表3 緊急地震速報（警報）が発表された地震の震源要素

震源要素等(※)	震源要素(※)				観測された最大震度	震央地名	緊急地震速報の第1報で予想した最大震度	地震検知から第1報までの時間(秒)
	北緯	東経	深さ	マグニチュード				
地震波検知時刻								
平成26年08月10日 12時43分35.3秒	41° 08.0'	142° 16.7'	51km	6.1	5弱	青森県 東方沖	震度5弱程度	3.2

表4 緊急地震速報（警報）の詳細（表中の網掛は2点以上の観測点のデータを用いて最も早く発表した警報であることを示します）

発表時刻等		震源要素等 地震波検知からの経過時間(秒)	震源要素				発表から主要動到達までの時間(秒)	予想した最大震度	警報の発表
			北緯	東経	深さ	マグニチュード			
地震波検知時刻	12時43分35.3秒								
1	12時43分38.5秒	3.2	41.2	142.3	50km	6.2	9	※1 ○	
2	12時43分40.6秒	5.3	41.2	142.2	60km	6.2	6	※2	
3	12時43分41.0秒	5.7	41.2	142.6	50km	6.4	6	※3	
4	12時43分42.1秒	6.8	41.2	142.7	10km	6.5	5	※4	
5	12時43分46.2秒	10.9	41.2	142.7	10km	6.5	1	※4	
6	12時43分55.0秒	19.7	41.1	142.3	50km	6.1	-	※5	
7	12時43分57.7秒	22.4	41.1	142.3	50km	5.9	-	※6	
8	12時44分05.2秒	29.9	41.1	142.3	50km	5.9	-	※6	
9	12時44分25.1秒	49.8	41.1	142.3	50km	5.9	-	※6	
10	12時44分36.4秒	61.1	41.1	142.3	50km	5.9	-	※6	

- ※1 震度5弱程度
震度4程度
青森県下北
青森県三八上北、日高地方東部、青森県津軽北部、渡島地方東部、岩手県内陸北部
- ※2 震度5弱程度
震度4程度
青森県下北
青森県三八上北、青森県津軽北部、渡島地方東部、日高地方東部、岩手県内陸北部
- ※3 震度5弱程度
震度4程度
震度3から4程度
青森県下北
日高地方東部、青森県三八上北、日高地方中部、岩手県沿岸北部、渡島地方東部、青森県津軽北部、胆振地方中東部、岩手県内陸北部
- ※4 震度5弱程度
震度4程度
震度3から4程度
青森県下北
日高地方東部、青森県三八上北、渡島地方東部、青森県津軽北部、岩手県内陸北部
- ※5 震度5弱程度
震度4程度
震度3から4程度
青森県下北
青森県三八上北、青森県津軽北部、渡島地方東部
- ※6 震度4程度
震度3から4程度
青森県下北、青森県三八上北、渡島地方東部
青森県津軽北部

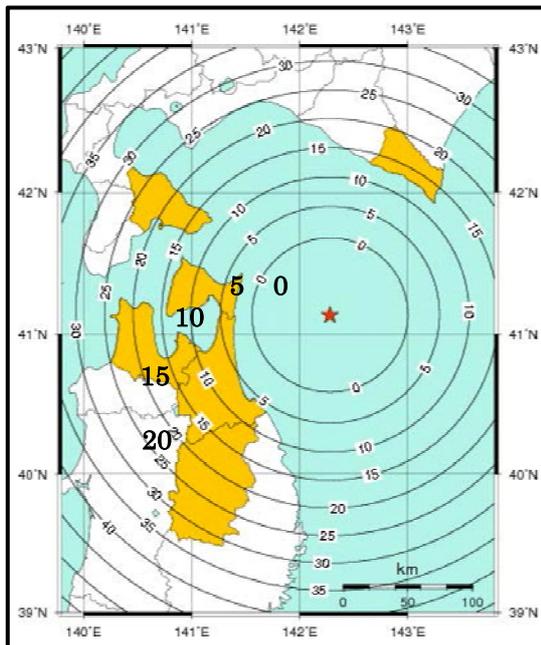


図3 緊急地震速報（警報）の猶予時間及び発表対象地域

■ 緊急地震速報（警報）を発表した地域 ☆：震源